

☆分散剤の基礎知識から、選び方・使い方を事例を交えて解説。

また、近年盛んに開発が進められているナノ分散の実際についても解説する。

# 分散剤の作用機構と種類・特徴およびナノ分散

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/241235>

◆日時:2024年12月16日(月) 13:30~16:30

◆会場:自宅や職場など世界中どこでも受講可

◆聴講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師:日本ルーブリゾール(株) パフォーマンスコーティングス部  
ビジネスディベロップメントマネージャー 博士(工学) 西澤 理 氏

### 【習得知識】

- 分散に関する科学的な基礎的知識、また検討時の実際
- 分散剤の種類とその特徴
- 分散剤の選択の方法と使い方
- ナノ分散とその実際
- 実際の使用例 -Lubrizol社の分散剤を例に

### 【講座の趣旨】

分散剤は、無機顔料や有機顔料等のさまざまな不溶粒子を媒体中に均一にかつ安定に分散させるために用いられる添加剤である。分散剤の性能により、顔料分散体(以下分散体)の安定性、着色力、光沢、隠ぺい力等の機能、性質が左右される。

分散剤は粒子と媒体との界面を安定化させるという機能においては、いわゆる通常の界面活性剤とは異なる機能が要求される。顔料表面に強く吸着し、一方で液相に対して安定化、さらには他に使用される添加剤、樹脂等の影響を最小化し、分散体を安定に保持する役割が必要である。

本講では、分散剤の作用機構と、近年盛んに開発が進められているナノ分散の実際、およびLubrizol社における分散剤開発の考え方、取り組み、および応用事例を紹介する。

### 【プログラム】

- 分散の基礎
  - 分散の科学
    - 分散とは?
    - 分散に関する学術理論
  - 分散の実際
    - 立体安定化と静電安定化
    - 安定化の実際
  - ナノ分散
    - 粒径の違いによる分散挙動の違い
    - ナノ分散の実際
- 分散剤の種類
  - 分散剤の種類と特徴
    - 分散剤の構造と化学構造
    - 分散剤の構造と特徴
- 分散剤の設計思想-Lubrizol社の場合
  - Lubrizol社の設計思想
  - 楕型分散剤とシングルタイプ分散剤、及びそれぞれの特徴
- 分散剤の選択と使用方法
  - 分散剤構造と溶剤
  - 分散剤構造と粒子の種類、表面処理
  - 溶媒の選択(溶媒にあった分散剤の選択)
- 実際の使用例-Lubrizol社の分散剤製品を例に
  - UV/EBエネルギー硬化系、溶剤系向け分散剤
  - 水系向け分散剤
  - 樹脂練りこみ/コンポジット向け分散剤

## 『分散剤【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>